

事業番号	05 06 08	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	思春期保健事業				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	保健・疾病対策課		
	施策の総合的展開	7-2	子育て先進県の実現		E-mail	boshi-shika@pref.nagano.lg.jp		
		3	子育て支援体制の充実		実施期間	S63年 ~		

1 事業の概要

目指す姿	思春期特有の問題及び、性に関する悩み等に対する相談や正しい知識の普及を行うことにより、健康的で人間性豊かな母性、父性の育成が図られる。		
------	---	--	--

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度の10代の人工妊娠中絶率は6.3(15歳～20歳未満の女性人口千対)。 平成26年度思春期ピアカウンセラー養成者数は37人。 		
------------	---	--	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施： 検討中	都道府県及び市町村における母子保健事業指針(H8. 11.20児発第933号) 信州保健医療総合計画(すこやか親子21) 高校生、大学生等への健康教育は市町村では困難であり県が実施することが適している。

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)				
	<ul style="list-style-type: none"> 10代の人工妊娠中絶率6.3から減少 思春期ピアカウンセラー養成講座修了者数:546人・・・26年度の実績と29年度の目標数の差の4年間の平均人数 				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27事業実績		
			H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
思春期クリニック	直接	保健福祉事務所において、医師、保健師等が思春期に関する相談を実施	303	122	328
思春期セミナー	直接	保健福祉事務所で、依頼のあった中学校、高校、専門学校等において性教育等を実施	-	-	-
思春期ピアカウンセラー育成	直接	県下2カ所で、大学生、看護学生等を対象に思春期ピアカウンセラー養成講座を開催	22	22	-
		合計	325	144	328

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	325	325	325	328
	補正予算				
	合計(A)	325	325	325	328
	一般財源	325	325	325	328
	県債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	291	188	144	
概算職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	
概算人件費	1,652	1,652	1,655	1,655	
概算事業費(B(A)+C)	1,943	1,840	1,980	1,983	

成果目標の達成状況					
項目	H26末 (実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
10代の人工妊娠中絶率(女性人口千対)	6.0	減少	集計中(12月)		減少
思春期ピアカウンセラー養成者数	延べ518	延べ546	延べ537	未達成	延べ557

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 思春期ピアカウンセラー養成者数は、2回実施予定だったが、松本大学での1回開催となった。目標数には達しなかったが19人の参加があり、参加者からは高校等に出向いてピアカウンセリングを行いたいなどの積極的意見があった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> 思春期セミナー、思春期クリニックにおける性に関する健康教育の継続 思春期ピアカウンセラー養成講座は、大学生等が参加しやすい日程、会場を考慮し1会場で実施する。
--------------------	--